

- 問1 夏の東北地方で「やませ」が発生し、稲の不作などの冷害が引き起こされる要因として、風の性質と発生源の説明を組み合わせたものとして正しいものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 1. シベリア高気圧から吹き出す、冷たく乾燥した風であるため | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため | 3. 小笠原高気圧から吹き出す、暖かく湿った風であるため | 4. 山を越えて太平洋側に吹き降ろす、高温で乾燥した風であるため |
|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
- 問2 東北地方では仙台七夕まつりや青森ねぶたまつりといった伝統行事が盛んですが、仙台七夕まつりでは約227万人、秋田竿燈まつりでは約110万人の客数を記録しています。このような大規模な集客を伴う伝統行事が、地域社会において果たしている役割として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 伝統文化の保存のみを目的としているため、外部からの観光客による経済効果を排除する役割 | 2. 交通機関の混雑を招くため、観光振興よりも住民の静穏な生活を優先するために規模を縮小する役割 | 3. 特定の旧家による祭祀を維持することを目的とし、住民全体の連帯感とは無関係に運営される役割 | 4. 住民の結びつきを強めるとともに、観光客を呼び込むことで地域経済を活性化させ、復興の象徴となる役割 |
|---|--|---|---|
- 問3 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といえますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 塩害 | 2. 冷害 | 3. 干害 | 4. 公害 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 東北地方の太平洋側に位置する仙台市の気候の特徴を、ある統計資料に基づき説明した文章として最も適切なものはどれですか。なお、この資料では一月の平均気温が零度を上回り、六月から九月にかけての降水量が多い一方、冬季の降水量は少なく抑えられているものとします。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 一月の平均気温が零度を上回り、北西の季節風の影響で冬季の降水量が夏季よりも大幅に多くなる気候。 | 2. 一月の平均気温が零度を下回り、夏季も気温が上がらず、年間通じて降水量が非常に少ない気候。 | 3. 黒潮の影響を強く受けるため、一月の平均気温が五度を超え、年間降水量が二千ミリを超える温暖多雨な気候。 | 4. 一月の平均気温が零度を上回り、夏季の降水量は多いが、奥羽山脈の影響で冬季の降水量は少なくなる気候。 |
|--|---|---|--|
- 問5 東北地方を日本海側の秋田県から太平洋側の岩手県にかけて横断する地形の断面図を想定したとき、その中央部に位置し、標高1000メートルを超える山々が連なる「脊梁山脈」を何と呼びますか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 越後山脈 | 2. 北上高地 | 3. 出羽山地 | 4. 奥羽山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 東北地方に位置し、人口が約230万人で、県庁所在地の人口が100万人を超える県があります。この県の東部に見られる、山地から平野へ出る付近に形成された扇状地の特徴と、そこで発展している産業の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 火山灰が堆積した土地でのサツマイモ栽培 | 2. 乾燥した気候を活かしたブドウや桃の果樹栽培 | 3. 豊富な水資源を活用した医薬品製造 | 4. 広大な泥炭地を活用した大規模な稲作 |
|------------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|
- 問7 岩手県南部の沿岸で見られる、複雑に入り組んだ「リアス海岸」という地形的特徴を活かして、特に盛んに行われている活動はどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------------------|----------------|-----------------|
| 1. かきやわかめの養殖 | 2. 遠洋漁業の大型船専用のドック建設 | 3. 大規模な干拓による稲作 | 4. 砂浜を利用した地引き網漁 |
|--------------|---------------------|----------------|-----------------|
- 問8 東北地方の太平洋側では、夏に北東の方角から冷たく湿った風が吹き込み、気温が上がらずに農作物の生育に悪影響を及ぼすことがあります。このような風を何と呼びますか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1. やませ | 2. 季節風 | 3. からっ風 | 4. フェーン現象 |
|--------|--------|---------|-----------|
- 問9 秋田県の伝統文化や観光資源に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 角館の武家屋敷は、明治時代の文明開化によって急速に整備された洋風の建築物群として知られている。 | 2. 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。 | 3. 竿燈まつりでは、七夕の時期に合わせて豪華な七夕飾りを吊るした竹竿を街中で振り回す。 | 4. 秋田県内で伝統的に受け継がれてきた武家屋敷の景観は、主に奥州藤原氏の時代に築かれたものである。 |
|--|---|--|--|
- 問10 日本の果樹栽培に関する統計において、西洋なしの生産量が全国の70パーセントを超える圧倒的なシェアを占めている県があります。この県ではさくらんぼの栽培も盛んに行われており、伝統工芸品として将棋の駒が生産されていることでも知られています。この県はどこですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山形県 | 2. 青森県 | 3. 新潟県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 日本の都市の成り立ちにおいて、歴史的に領主の住む城を中心に家臣や商人が集められて形成された町を何というか。現在の多くの県庁所在地の原型ともなっている。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 宿場町 | 2. 門前町 | 3. 城下町 | 4. 港町 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問12 1993年の東北地方における気象データでは、夏季の日照時間が極端に短く、気温が平年に比べて非常に低い状態が確認できます。このような冷害をもたらす要因となる、初夏から夏にかけてオホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った北東の風を何といえますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------------|
| 1. からっ風 | 2. フェーン | 3. やませ | 4. 季節風（モンスン） |
|---------|---------|--------|--------------|
- 問13 都市の人口構造を示す指標の一つに「昼夜間人口比率」があります。この比率が100を下回る地域（夜間人口が昼間人口を上回る地域）において、一般的に見られる社会現象について述べたものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 都心のオフィス街において、夜間の火災や災害時に救助活動を行う定住者が不足する現象。 | 2. 観光地において、宿泊客の増加により夜間の人口が一時的に昼間の観光客数を上回る現象。 | 3. 郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。 | 4. 工業団地において、夜間勤務の労働者が増えることで24時間営業の店舗が急増する現象。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため	やませは、北に位置するオホーツク海高気圧が発達した際に、その縁から太平洋側へ吹き出す北東の風です。海からの湿気と冷たさを蓄えた状態で流れ込むため、東北地方の太平洋側で気温が上がらなくなり、日照時間も減少することで冷害が発生します。シベリア高気圧は冬の季節風の、小笠原高気圧は夏の蒸し暑さの源となる気圧配置です。
問2	答え 4 住民の結びつきを強めるとともに、観光客を呼び込むことで地域経済を活性化させ、復興の象徴となる役割	伝統的な祭りは、古くからその土地に住む人々の連帯感を高める重要な機会となってきました。現代では、広域からのアクセス性の向上により、仙台七夕まつりや秋田竿燈まつりのように100万人を超える観光客を集める事例も多く、宿泊や飲食などの消費活動を通じて地域経済に大きく貢献しています。特に東北地方においては、これらの祭りが震災からの復興を力強く象徴する行事として位置づけられています。
問3	答え 2 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問4	答え 4 一月の平均気温が零度を上回り、夏季の降水量は多いが、奥羽山脈の影響で冬季の降水量は少なくなる気候。	仙台市は東北地方の太平洋側に位置しており、冬は奥羽山脈が湿った北西の季節風を遮るため、日本海側と比べて降雪量（降水量）が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。同じ東北地方でも、一月の平均気温が零度を下回る北海道寄りの地域や、冬に降水量が増える日本海側の地域とは明確に異なります。また、静岡などの東海地方に比べると夏季の降水量や冬の気温は低くなりますが、東北地方の中では比較的温暖な部類に入ります。
問5	答え 4 奥羽山脈	東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈は、日本海側と太平洋側を分ける「脊梁山脈」としての役割を果たしています。地形の断面図で見ると、西側の秋田県側と東側の岩手県側の間に位置する、最も標高の高い部分に該当します。東側に位置する北上高地は、なだらかな地形が特徴であり、断面図の形状が異なります。
問6	答え 3 豊富な水資源を活用した医薬品製造	宮城県の東部には、山地から平野部にかけて土砂が堆積してできた扇状地が広がっています。この地形では河川や地下水などの水資源が豊富に得られるため、その良質な水を利用した医薬品製造拠点が数多く立地しています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市として100万人以上の人口を抱えています。
問7	答え 1 かきやわかめの養殖	リアス海岸は、山地が沈水してできた複雑な入り江を持つため、波が穏やかで養殖に適した環境を作り出しています。岩手県はこの地形を活かし、かきやわかめ、ほやなどの養殖業が全国的にも有名です。
問8	答え 1 やませ	夏にオホーツク海高気圧から東北地方の太平洋側に吹き込む、冷たく湿った北東の風を指します。この風が長期間吹き続けると、日照不足や気温の低下を招き、稲作などに深刻な冷害をもたらす要因となります。群馬県などで冬に吹く「からっ風」や、山を越えた風が乾燥して高温になる「フェーン現象」とは性質が異なります。
問9	答え 2 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。	秋田竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う「ねぶり流し」が起源とされ、竹竿を稲穂に、提灯を米俵に見立てて五穀豊穡を祈る、国の重要無形民俗文化財です。角館の武家屋敷群は江戸時代の武家文化を伝えるものであり、奥州藤原氏（岩手県平泉）や明治時代の洋風建築とは歴史的背景が異なります。
問10	答え 1 山形県	山形県は、盆地特有の昼夜の気温差を活かした果樹栽培が非常に盛んです。特に西洋なし（ラ・フランスなど）は全国シェアの約7割を占める圧倒的な産地であるほか、さくらんぼの生産量も日本一です。また、内陸部の天童市を中心に伝統産業として将棋の駒の製造が行われていることも大きな特徴です。
問11	答え 3 城下町	戦国時代から江戸時代にかけて、領主の居城を中心に計画的に造られた町であり、武家屋敷や町人地が配置された。現在、多くの県庁所在地がかつての城下町に由来している。一方、門前町は寺社の前、港町は港、宿場町は街道沿いに発展した町である。
問12	答え 3 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧が発達すると、そこから冷たく湿った北東の風である「やませ」が吹き込みます。通常は一時的なものですが、1993年のようにこの風が長期間吹き続けると、厚い雲に覆われて日照時間が不足し、気温が上がらないため、稲作に甚大な被害（冷害）を及ぼします。これに対し、冬に山を越えて吹き降ろす乾燥した冷たい風は「からっ風」と呼ばれます。
問13	答え 3 郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。	昼夜間人口比率が100を下回るということは、その地域が主に居住用として利用されており、昼間は多くの人々が他の地域へ流出していることを意味します。このため、昼間の時間帯に地域に残る人が少なくなり、地域行事の運営や自主防犯活動といったコミュニティの維持が困難になるという課題が生じやすくなります。